

「輸送の三原則を統合した国際海上輸送システム創出の研究」 平成21年度研究成果報告会

日 時：平成22年3月5日（金曜日）10：15～17：30

会 場：神戸大学海事科学研究科・学术交流棟 1F コンファレンスホール

（神戸市東灘区深江南町5-1-1：阪神電車深江駅徒歩6分 会場アクセスの詳細は研究科ホームページ
（<http://www.maritime.kobe-u.ac.jp/map/>）をご覧ください

シンポジウム参加費：無料

懇親会参加費：3,000円（当日徴収）懇親会参加者は、準備の都合上事前に下記アドレスまでご連絡下さい。（連絡先：hiramats@maritime.kobe-u.ac.jp）

神戸大学海事科学研究科では、文部科学省特別教育研究推進（研究推進）として採択された「輸送の三原則を統合した国際海上輸送システム創出の研究」（平成20～23年度）を核として、世界的な海事科学研究の拠点形成を目指した研究を進めています。本プロジェクトは、「海洋基本法」で謳われている「海洋の環境保護・保全」及び「我が国の経済及び生活を支える海上輸送の確保」に鑑み、「安心・安全、環境保全、経済性」を統合する全く新しい輸送システムの創出を目指しています。2年目の本報告会では、2件の特別講演と共に本プロジェクト4部門の平成21年度成果報告を行います。国際海上輸送システムに関する従来の要素的研究の統合化や新たな輸送システム創出について活発な意見交換を行いたいと考えておりますので、是非、多数のご参加お願い申し上げます。

【プログラム】司会：三村治夫（プロジェクト副代表者）

- | | | |
|-------------|--|-----------------------|
| 10:15～10:25 | 開会挨拶およびプロジェクト概要の説明 | 塩谷茂明（プロジェクト代表） |
| 10:15～11:10 | 特別講演1「アジアの経済成長と世界海運の変化」 | 森隆行（流通科学大学教授） |
| 11:10～11:15 | <休憩> | |
| 11:15～12:00 | 特別講演2「バラスト管理条約に関する技術動向」 | 小林茂樹（（株）日立プラントテクノロジー） |
| 12:00～13:30 | <昼休憩> | |
| 13:30～14:20 | 安全・安心部門成果報告 | |
| | (1)「安全航行のための視覚的評価システムの構築に関する研究」 | 牧野秀成（神戸大学学術推進研究員） |
| | (2)「船舶の燃料消費量を考慮したウェザー・ルーティングの試み：等時間曲線法」 | 嶋田陽一（神戸大学学術推進研究員） |
| | (3)「船舶復原性の諸問題に対する理論的推定手法の構築とこれらを考慮した航路最適化手法の提案」 | 牧 敦生（神戸大学学術推進研究員） |
| 14:20～14:25 | <休憩> | |
| 14:25～15:15 | 海洋環境部門成果報告 | |
| | (1)「船舶バラスト水処理技術に関する研究」 | 万 碧玉（神戸大学学術推進研究員） |
| | (2)「全球大気海洋モデルを用いた油流出シミュレーション」 | 崔 栄珍（神戸大学学術推進研究員） |
| | (3)「平成21年度の部門総括」 | 阿部晃久（神戸大学教授） |
| 15:15～15:20 | <休憩> | |
| 15:20～16:10 | 大気環境部門成果報告 | |
| | (1)「二相閉ループサーモサイフォン冷却を応用した船舶機関・機器の省エネルギーによる二酸化炭素排出削減」 | 福田勝哉（神戸大学教授） |
| | (2)「バイオ燃料を用いたディーゼルエンジンの排ガス浄化」 | 段智久（神戸大学准教授） |
| 16:10～16:15 | <休憩> | |
| 16:15～17:05 | 経済部門成果報告 | |
| | (1)「海運業における推測変分の計測」 | 小葉武史（神戸大学学術推進研究員） |
| | (2)「阪神港一開港化に関する実証分析と提言」 | 韓 成一（神戸大学学術推進研究員） |
| | (3)「荷主による国際海上コンテナ貨物の海上輸送経路の選択行動に関する研究」 | 秋田直也（神戸大学助教） |
| | (4)「規模の経済と多層ネットワークを考慮したアジア域内海上コンテナ輸送モデルの開発と適用」 | 石黒一彦（神戸大学准教授） |
| 17:05～17:20 | 総合討論（全体を通じた質問等） | |
| | 閉会挨拶 | 塩谷茂明（プロジェクト代表） |
| 17:30～19:00 | 懇親会（海事科学部生協食堂） | |